

令和2年度まちぐるみ「教育の絆」プロジェクト事業に係る説明会実施要項

1 目的

- ・ まちぐるみ「教育の絆」プロジェクト事業の実施校へ、取組の内容及び委託契約に係る事務手続きや学習支援サービスの利用方法及び効果的な活用方法を説明することにより、事業の充実と円滑な実施に資する。
- ・ コーディネーターや担当教職員の連携の充実を図る。

2 主催

広島市教育委員会 学校教育部 指導第二課

3 日時

令和2年4月10日（金）14：50～16：45

4 対象

- ・ 令和2年度新規実施校コーディネーター及び絆プロジェクト担当教職員
- ・ 絆プロジェクト継続校のうち参加希望者

5 会場

広島市西区地域福祉センター 3階 大会議室

（広島市西区福島町二丁目24番1号 TEL 082-294-0104）

※ お車でお越しの際は、臨時駐車場をご利用ください。

6 日程

（受	付）	14：20～14：50									
開	会	行	事	14：50～14：55							
概	要	説	明	14：55～15：05							
会	計	関	係	書	類	の	説	明	15：05～15：35		
学	習	支	援	シ	ス	テ	ム	の	説	明	15：35～16：00
事	務	手	続	き	の	説	明	16：00～16：45			

1 趣旨

家庭教育の充実に向けて、親子関係や家族関係などをより豊かなものにしていくきっかけづくりのために、広島県教育委員会が開発した「『親の力』をまなびあう学習プログラム」（以下「学習プログラム」という。）を活用した講座を、呉市からファシリテーター（講師）を派遣して実施します。

2 主催

呉市

3 内容

- (1) 学習プログラムを活用した参加型学習講座を実施します。
 - ① 学習プログラム（41の教材メニュー）の中から選択できます。
 - ② その他、申込団体の実情に合わせたオリジナルプログラムも選択できます。この場合はファシリテーターとの打ち合わせが必要ですので、その旨を申込書に記入してください。
- (2) 所要時間は、1講座当たり、概ね120分で行います。
- (3) 1講座あたりの参加人数は、12人以上50人程度を目安とします。

4 講座を実施する期間及び実施団体数

実施期間：令和2年6月～令和3年1月（予定）

実施団体数：先着12団体

5 講座を実施する対象団体

呉市内の学校、幼稚園、保育所、社会教育関係団体、家庭教育関係団体、市民公益活動団体等

6 講座の申込

申込書（別紙1）を、開催希望日の概ね2ヶ月前までに、文化振興課へ提出してください。

7 講座の決定等

日程及び派遣する講師の調整を行い、決定通知書（別紙2）を交付します。また、御希望の日程等において、講師の調整がつかない場合がございますので、御了承ください。

8 派遣する講師

呉市が指定する県教委実施のファシリテーター養成講座の修了者を派遣します。

9 費用

無料です。

10 その他

- (1) 参加者への広報、会場確保・設営等をお願いします。
- (2) 講座の実施にあたり、物品等の準備が必要な場合は手配をお願いします。
- (3) 使用する教材（ワークシート）は、広島県立生涯学習センターのホームページ（ぱれっとひろしま→家庭教育支援→「親の力」をまなびあう学習プログラム）からダウンロードして、あらかじめ準備しておいてください。

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/kateikyoku-oyapuro.html>

- (4) 新型コロナウイルスの感染防止対策にご協力をお願いします。

11 連絡先

呉市文化振興課 社会教育グループ

電話 0823-25-3461

FAX 0823-24-9807

(別紙)

令和元年度「『親の力』をまなびあう学習プログラム」講座 実施一覧

	実施日		実施団体	対象者	参加人数	教材番号
1	6月9日	(日)	呉市立川尻小学校	保護者	69	18
2	7月3日	(水)	呉市教育会	会員	13	1
3	7月10日	(水)	呉市PTA連合会	保護者・教職員	132	21
4	7月17日	(水)	呉市教頭会	呉市立小中高教頭	53	オリジナル
5	10月11日	(金)	呉市立豊浜中学校	生徒	8	オリジナル
6	10月30日	(水)	呉市立音戸小学校	保護者・地域の 人	40	18
7	11月21日	(木)	呉市立和庄中学校	保護者・教職員	32	21
8	11月30日	(土)	呉市障害福祉課	保護者・職員	17	
9	12月17日	(火)	呉市立豊浜中学校	生徒	8	
10	1月9日	(木)	呉市立豊浜中学校	生徒	28	
11	1月22日	(水)	呉市立片山中学校	生徒	58	
12	1月23日	(木)	広島県立昭和高校	生徒	76	オリジナル
13	2月2日	(日)	呉市立明德小学校	児童・保護者	32	17
14	2月3日	(月)	呉市立豊小学校	児童・保護者	21	
15	2月5日	(水)	呉市障害福祉課	保護者・職員	18	

平成30年度「『親の力』をまなびあう学習プログラム」講座 実施一覧

	実施日		実施団体	対象者	参加人数	教材番号
1	5月12日	(土)	広島県立呉商業高等学校	保護者・教職員	29人	26番
2	9月7日	(金)	呉市立坪内小学校	保護者・教職員	21人	16番
3	9月10日	(月)	呉市立倉橋小・中学校	保護者・教職員	16人	27番
4	9月10日	(月)	呉市立倉橋小・中学校	保護者・教職員	16人	18番
5	11月5日	(月)	呉市立和庄中学校	保護者・教職員	36人	26番
6	1月24日	(木)	広島県立呉昭和高等学校(1-1)	生徒	29人	31番

(別紙)

7	1月24日	(木)	広島県立呉昭和高等学校(1-2)	生徒	29人	31番
8	2月1日	(金)	呉市立片山中学校	生徒	57人	オリジナル
9	2月3日	(日)	呉市立明德小学校	保護者・生徒	38人	18番
10	3月20日	(水)	呉市障害福祉課	保護者	15人	オリジナル

令和元年度の実施状況

令和元年6月9日（日） 呉市立川尻小学校 保護者



令和元年7月3日（水） 呉市教育会 会員



令和元年7月10日（水） 呉市PTA連合会 保護者・教職員



令和元年7月17日(水) 呉市教頭会 呉市立小中高教頭



令和元年10月11日(金) 呉市立豊浜中学校 生徒



令和元年10月30日(水) 呉市立音戸小学校 保護者・地域の人



令和元年11月21日（木） 呉市立和庄中学校 保護者・教職員



令和元年11月30日（土） 呉市障害福祉課 保護者・職員



令和元年12月17日（火） 呉市立豊浜中学校 生徒



令和2年1月9日（木） 呉市立豊浜中学校 生徒



令和2年1月22日（水） 呉市立片山中学校 生徒



令和2年1月23日（木） 広島県立昭和高校 生徒



令和2年2月2日（日） 吳市立明德小学校 児童・保護者



令和 2 年度地域教育支援活動促進事業実施計画書

1. 事業趣旨及び目的 別添要項のとおり
2. 事業内容 別添要項のとおり
3. 事業期間 令和 2 年（2020 年）4 月 1 日から
令和 3 年（2021 年）3 月 31 日まで
4. 補助対象 各学校の地域教育推進委員会（以下「推進委員会」という。）
5. 補助額及び対象経費
本年度予算 300,000 円（開始年度から 3 年間：1 小学校あたり 100,000 円以内）
別添要項のとおり

6. 実施方針

平成 30 年度から開始した重井小学校及び栗原北小学校の事業を継続する。また、未実施校に事業説明を行い、新規の推進委員会の設置について検討する。

7. 補助対象校

(1) 継続校

重井小学校・栗原北小学校
平成 30 年度から実施

(2) 新規校

因島南小学校

※主に行うこと

【教育委員会】

- 学校長への事業説明 ○補助金決定 ○補助金交付 ○推進委員会の支援
○ボランティアのリストの作成

【推進委員会】

- 推進委員及びコーディネーター選定 ○推進委員会の設置
○ボランティアの募集
○事業計画 ○補助金申請 ○事業実施 ○事業報告

※参考：過去の補助対象校

平成 20 年度 久保小学校
平成 21 年度 久保小学校・山波小学校・久保中学校
平成 22 年度 久保小学校・山波小学校・久保中学校
(注：平成 20 年度から平成 22 年度まで国の委託事業「学校支援地域本部事業」として実施)
平成 23 年度 御調西小学校・瀬戸田小学校・向東小学校
平成 24 年度 御調西小学校・瀬戸田小学校・向東小学校・吉和小学校・土生小学校
平成 25 年度 御調西小学校・瀬戸田小学校・向東小学校・吉和小学校・土生小学校
平成 26 年度 吉和小学校・土生小学校・向島中央小学校
平成 27 年度 向島中央小学校・栗原小学校・高須小学校
平成 28 年度 向島中央小学校・栗原小学校・高須小学校
平成 29 年度 栗原小学校・高須小学校・浦崎小学校
平成 30 年度 浦崎小学校・重井小学校・栗原北小学校
令和 元 年度 浦崎小学校・重井小学校・栗原北小学校

令和2年度地域教育支援活動促進事業実施要項

1. 趣旨及び目的

地域の教育力及び家庭の教育力向上を図るため、地域全体で主体的に子どもの教育を支援する体制を構築し、学校支援ボランティアによる学校支援及び講座等の開催による家庭教育支援活動等を行うことを目的とする。

2. 事業内容

教育委員会と地域は、次の内容を実施するものとする。

【地域】

(1) 地域教育支援推進委員会(以下「推進委員会」という。)の設置

- ①推進委員会は、小学校区または中学校区単位で設置し、主な関係団体の役員で構成する。
(例：社会福祉協議会・町内会・民生委員児童委員・PTA関係者・学校関係者代表等)
- ②推進委員会は、地域コーディネーター(以下「コーディネーター」という。)の選任、学校支援活動の計画立案・事業の広報・事業の評価等を行う。

(2) コーディネーターの配置

- ①学校支援ボランティア活動(以下「ボランティア活動」という。)を実施するにあたり、学校とボランティア間を調整するコーディネーターを配置する。
- ②コーディネーターは、学校の要望に応じ、学校とボランティア間の調整、ボランティア活動への参加の呼びかけ等を行う。

(3) ボランティア活動の実施

ボランティアは、学習支援、クラブ活動、環境整備、登下校安全確保、学校行事の開催等の支援活動等、学校の要望に応じた活動を行う。

(4) 家庭教育講座等の実施

推進委員会は、地域の保護者や住民を対象とした家庭教育講座を行う。

【教育委員会】

(1) 情報収集・提供

- ①市内の小中学校に実施校の事業成果を周知する。
- ②ボランティア活動の内容及び活動事例を情報提供する。
- ③先進地等他市の活動事例について情報提供を行う。

(2) 各種資料等の作成

- ①推進委員会設立にあたり、必要な支援を行う。
- ②ボランティア募集後、名簿を作成し、学校及びコーディネーターへ提供する。

(3) ボランティアの養成

コーディネーター及びボランティアの資質向上のため養成講座を実施する。

(4) 家庭教育講座に対する支援

推進委員会が実施する家庭教育講座について、講師の紹介等必要な支援を行う。

3. 事業費の補助

「尾道市地域教育支援活動促進事業補助金交付要綱」(以下「交付要綱」という。)に基づき、新規開設の委員会に対し、事業開始年度から3年間、年額100,000円以内を助成する。ただし、受付順で3地域までとする。

4. 補助対象経費

補助対象経費は、学校支援事業及び家庭教育講座に係る次の経費とする。

(1) コーディネーター活動経費

- ①報償費
- ②コーディネーター活動謝金
- ③旅費
- ④研修旅費
- ⑤その他教育委員会が必要と認める経費

(2) 推進委員会経費

- ①消耗品費
- ②印刷製本費
- ③通信運搬費(広報紙等送付・会議連絡用切手代等)
- ④食糧費(会議用お茶代等)
- ⑤その他教育委員会が必要と認める経費

(3) ボランティア経費

- ①消耗品費
- ②その他教育委員会が必要と認める経費

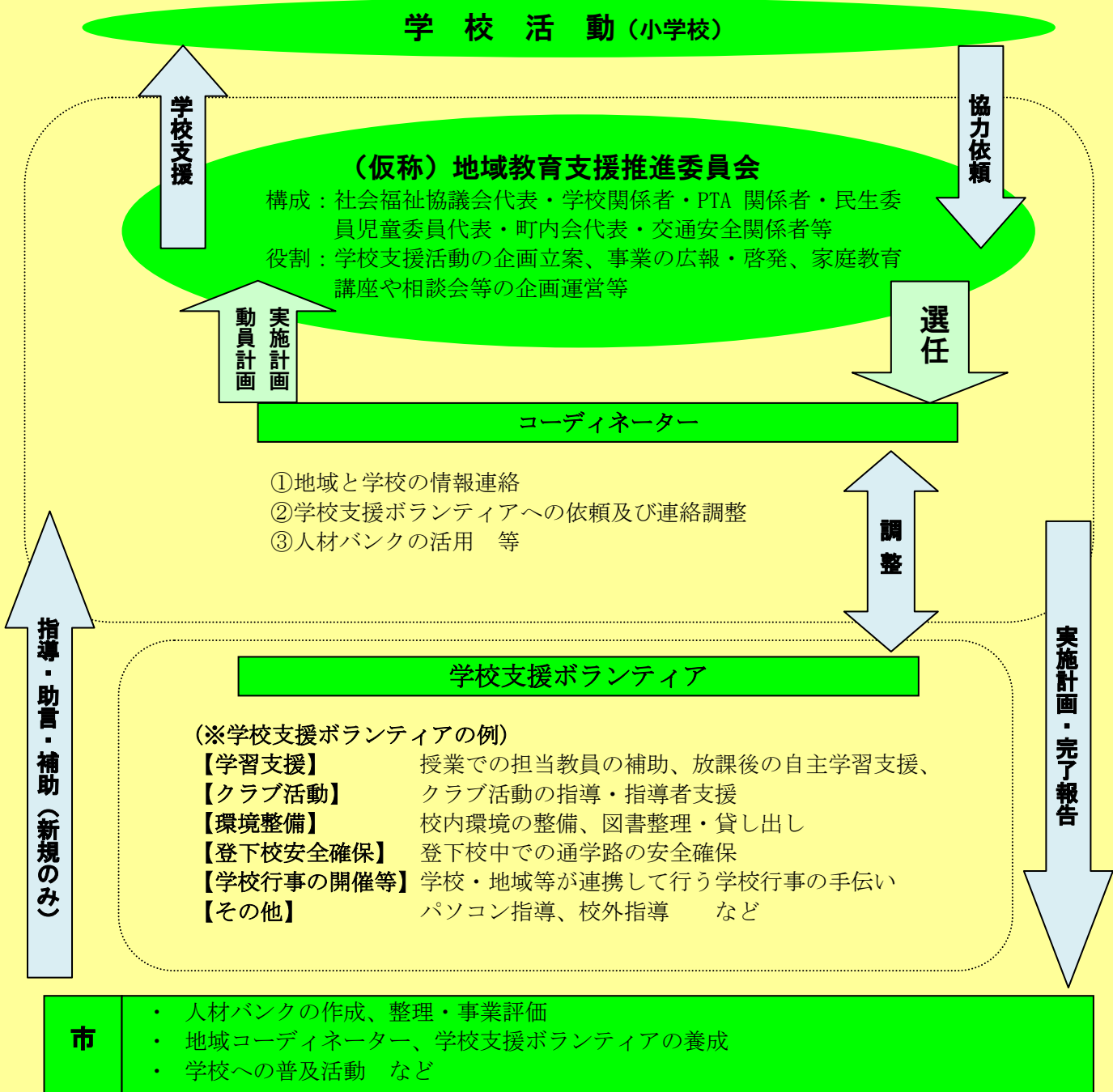
(4) 家庭教育講座に関する経費

- ①講師旅費
- ②講師謝金
- ③その他教育委員会が必要と認める経費

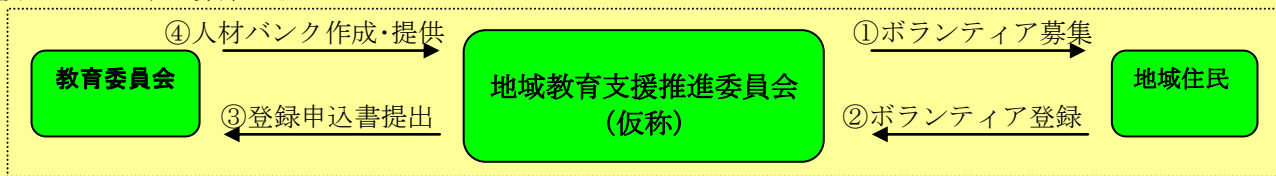
地域教育支援活動促進事業

事業目的 地域全体で学校を支援するため、学校・地域・家庭の連携体制の構築を図る。
 加えて家庭の教育力向上に向けた支援を実施することにより、地域全体の教育力の向上を図る。

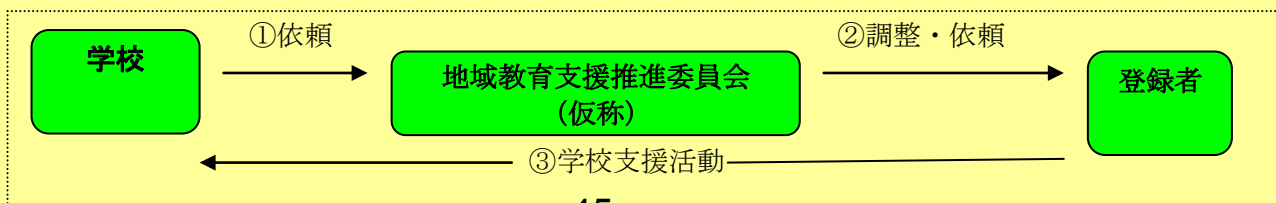
- 子どもと向き合う時間の拡充
- 家庭・地域教育力の活性化
- 社会教育で学んだ成果を生かす場



学校支援ボランティア募集の流れ



学校支援活動までの流れ



(登録証番号)	
登録No.	
学校支援ボランティアバンク登録証	
氏名	
活動区域学校	
登録分野	
上記の者は、学校支援ボランティアバンクの登録者であることを証します。	
令和 年 月 日	
〇〇学校地域教育支援推進委員会	

A 6判

学校支援ボランティアバンク登録者としての留意事項
1 学校支援ボランティアとして活動するときは、本登録証を必ず携帯してください。
2 登録期間は、本人からの取り消しの申し出があるまでとします。
3 登録事項に変更が生じた場合は、速やかに〇〇学校地域教育支援推進委員会へ連絡してください。
[変更事項]
.....
.....

A 6判

向東地区家庭教育支援チーム“親ちから”設置及び活動要綱

(設置)

第1条 向東地区に、家庭教育支援チームを設置する。

(名称及び所在地)

第2条 名称は「向東地区家庭教育支援チーム“親ちから”」(以下「支援チーム」という。)とし、位置は次のとおりとする。

位置 尾道市向東町11841番地15

(目的)

第3条 支援チームは、情報や学習機会の提供、相談体制の充実をはじめとするきめ細かな家庭教育支援を行い、地域全体で家庭教育の向上をはかることを目的とする。

(組織)

第4条 支援チームは、地区の役員、民生委員児童委員、学識経験者、家庭教育の知識を有する者、PTA、子育ての経験者、子育てを支援する者等の中から、3名以上のチーム員をもって組織する。

(事業内容等)

第5条 活動の内容は次に掲げるものとし、内容については生涯学習課と連携する。

- (1) 家庭教育に関する情報の収集提供
- (2) 家庭教育講座の提供およびコーディネート
- (3) 必要に応じて相談対応等の実施

(守秘義務)

第6条 家庭教育支援事業の活動中に知り得た個人の秘密は、外部に漏らさない。

(任期)

第7条 支援チーム員の任期は、4月1日から同年度3月31日までとする。

(事務)

第8条 家庭教育支援活動を行った場合は、日時、場所、出席者、内容等を明記した活動記録簿を備える。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、家庭教育支援チームの運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

おのみち市民大学 ボランティア研修 開催要項

1 趣旨・目的

放課後子ども教室、放課後児童クラブ、教育ボランティアの指導員等に対して、研修を行います。

子どもにいじめ・虐待・性暴力や犯罪など危険な目にあわないで、安心・安全な環境で成長していくためには、学校・家庭・地域の三者が一体となって、環境を整えていく必要があります。子どもたちを守るために大人は何ができるのか。参加者同士ワイワイ話合いながら、CAP プログラムをとおして考え、子どもの人権を尊重した支援の方法を学びます。

2 主催 尾道市教育委員会

3 開催日・日時

令和元年9月13日（金）10:00～11:30

4 場 所

尾道市民センターむかいしま大会議室

5 講 師

CAPおのみち（3名）

6 謝 礼

15,000円

7 演 題（内容）

「子どもを守る知識とスキルを学びあおう ～子どもの安心・安全のためにできること～」

8 日 程

9:30 10:00 11:25 11:30

受付・ 開場	【講座】	【質疑応答】
-----------	------	--------

9:30～10:00 受付・会場
10:00～11:25 講座
11:25～11:30 質疑応答

9 参加費 無料

10 対象者

ボランティア活動に興味がある人、放課後子ども教室指導員、放課後児童クラブ指導員、教育ボランティア、学校支援ボランティア 等

11 定 員 100名

12 申込み等 電話・ファックス・メール等にて申込み。

13 広報

広報おのみち8月号、各新聞社に掲載依頼する。各種団体及び構成員に周知する。

14 申込・問合せ先

尾道市教育委員会 生涯学習課（担当：岩石）

〒722-8501 尾道市久保一丁目15-1 教育会館3階

TEL(0848)20-8324 FAX(0848)37-0233

E-mail: shogai@city.onomichi.hiroshima.jp

講演（研修）会実施報告書

次のとおり報告します。

日 時	令和元年 9 月 13 日（金） 10:00 ～ 11:30		
場 所	尾道市民センターむかいしま 大研修室		
事業名	令和元年度おのみち市民大学講座 ボランティア研修		
タイトル	CAP 講座「子供を守る知識とスキルを学びあおう ～子どもの安心・安全のためにできること～」		
講師名 （肩書）	CAP おのみち	講師謝金	15,000 円
参加者数	20 人	担当職員名	岩石、浅野

当日の状況（概要）

参加者は放課後子ども教室指導員、放課後児童クラブ指導員が主であった。

講師は、子どもへの暴力、大人ができる対策、子どもが持つ権利、被害から逃れる方法について、参加者による話し合いに重きを置き、事例のロールプレイを交えて説明を行った。

当日の会場内の画像は次のとおり。



担当職員所見（成果及び課題）

（成果）

今回のボランティア研修会では、CAP おのみちによる「子どもの安全な環境づくり」についての講座を行った。子どもに対する虐待問題は社会的に注目が集まっており、子どもの指導・支援を行っている参加者達には、特に注目していて欲しいテーマである。子どもへの暴力について、具体的で緊張感のあるロールプレイを行うことにより、参加者はこの問題を身近に感じ、真剣に考えている様子であった。CAP おのみちが推奨する「特別な叫び声」では、高い声であげる悲鳴ではなく、低い声で「おー」と大きな声を出すことで自らの緊張を解き、逃げる力を引き出すものであるとの紹介があった。私自身、特別な叫び声を参加者と一緒に試してみたところ、まだ認知率は低いであろうが、インパクトがあって加害者も驚くし、なにより逃げるための力が出るという点が良いなと感じた。

子供たちに向けての出張講座を行ってもらえれば、大いに役立つのではないかと感じた。

（課題）

今回の研修会では、参加者が 20 人とボランティア活動者数から考えると少なかった。

チラシや広報の記事では実施内容が分かりづらく、興味を引けなかったのかもしれない。次回からは、題名やチラシに具体的な内容を載せられれば良いと思った。

講座内容についても、対象者向けとなるように打ち合わせを行い、より効果的な研修となるように作り上げる必要があると感じた。

公民館・交流館職員専門研修

- 知っておきたい！これが公民館運営術 -

3回連続講座
参加者募集!!



福山市持続可能な地域コミュニティ形成に関する政策アドバイザー

講師 櫻井 常矢 さん

(高崎経済大学地域政策学部地域づくり学科教授)

東北大学大学院教育学研究科後期博士課程修了。博士（教育学）。
専門は社会教育学・地域づくり・市民協働。人材育成を軸とした地域コミュニティ再生や市民協働システムの構築に実践的にアプローチ。市町村自治体を中心に関連する政策アドバイザーを務め、行政職員研修や市民向け学習会を全国各地で重ねる。現在、総務省地域力創造アドバイザー、群馬県社会教育委員会議長等を務める。
福山市では、2018年度持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議に委員として参画。2019年度から福山市持続可能な地域コミュニティ形成に関する政策アドバイザーに就任し「地域づくり塾」や「モデル事業」など地域づくりのための支援や職員研修に携わっている。

- **ねらい** 高齢化，人口減少時代に向かう中で地域課題は多様化しており，解決へ向けては地域コミュニティの拠点となる公民館等の社会教育施設の役割は大きなものです。この研修では「事業」「住民参加」「地域づくり」の3つのキーワードをもとに，公民館職員としての専門性を高めます。
- **対象者** 30人程度
 - ・ 公民館長，交流館長，公民館主事，交流館主事，生涯学習センター職員
 - ・ 「地域づくり」の取組に熱意があり3回とも研修に出席できる人

第1回

日時：8月25日（火）13:30～16:30 場所：市民参画センター
社会教育の目的とは何か。どのような講座が求められているのか。各館の事業の振り返りをしながら事業を企画する際の視点を考えます。

第2回

日時：9月15日（火）13:30～16:30 場所：市民参画センター
住民ニーズとはなにか。地域や住民の力量を高める方法とは何か。社会教育の基本理念である住民参加について学びます。

第3回

日時：10月13日（火）13:30～16:30 場所：市民参画センター
公民館はなぜ地域づくりの拠点と言えるのか。この基本を確認しつつ，これからの地域づくりと向き合う公民館の役割をえがいていきます。

- **申し込み** 締切：8月7日（金）
 - ・ 参加には受講申込書の提出が必要となります。
 - ・ 受講希望の際は所管の生涯学習センターに連絡してください。

府中市地域未来塾事業実施要領

1 趣旨

少子高齢化の進展、人口減少が進む地域において、学級規模の小規模化などによる教育上の課題や、学校統廃合の進行による学校と地域の関係の希薄化などの課題が生じている。

これらの課題に対して、地域人材による学校の教育活動の支援によりその緩和を図るとともに、学校や地域の教育環境の魅力の向上を図り、地域全体で地域の将来を担う子どもたちを育成することを通して、地域創生の実現を目指す。

2 実施主体

この事業の実施主体は、府中市教育委員会とし、事業の一部を次の団体（以下「委託団体」という。）に委託して行うものとする。

- (1) 進学コース 広島県立上下高等学校200年の会
- (2) 地域魅力づくりコース 上下まちづくり協議会

3 対象者

- (1) 進学コース 上下高等学校在学学生
- (2) 地域魅力づくりコース 小学生、中学生、高校生等、地域の子ども全般を対象とする。

4 事業内容

学力の定着と向上及び教育環境の充実を図り、地域の魅力づくりに貢献するための事業「天領あやめ塾」の運営を主なものとする。

5 経費

事業の実施に必要な経費は、次に掲げる経費とする。

- (1) 謝金（講師及び支援員等）
- (2) 教材費
- (3) 運営に要する経費
- (4) 前各号に掲げるもののほか、教育長が必要であると認める経費

6 受講者の募集

委託団体は募集案内を作成し、募集する。申込書は委託団体で受け付け、委託団体において参加者名簿及び緊急連絡先を整理し登録・保管する。

7 受講料等の徴収

受講にあたっては、次のとおり受講者から受講料を徴収する。

(1) 進学コース

年額9,000円

(2) 地域魅力づくりコース

事業内容により受講料を決定する。

8 安全管理

委託団体は受講者の状況を確認し、安全管理に努め、怪我や体調不良の受講者が発生した場合等は、速やかに関係者との連絡調整を図る。また、教育委員会等関係機関と迅速に連携を取れる体制を整備しておく。

附 則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和2年4月1日から施行する。

上下まちづくり協議会

てんりょう

じゆく

天領あやめ塾

ちいきみりよく

かいさい

「地域魅力づくりコース」開催！

しょうがくせい

こうこうせい

いっばん みな

たいしょう

小学生から高校生と、一般の皆さまを対象に、上下の

まちづくり講座を7月18日(土)に開催します。

まちづくりに興味のある人は、だれでも参加できます。

上下のまちなみガイドさんとぜひ、一緒に歩きましょう。

第1回 「まちづくり講座」

じょうげ

しらかべ

まち

たんけん

上下の白壁の町なみ探検！

日時

令和2年7月18日(土)

10:00~11:30

集合

「泊まれる町家 天領上下」(上下キリスト教会の前)

講師

上下ガイド協会 中下正子さん

◎府中市教育委員会の平谷教育長さんも参加されます！

対象

府中市の児童・生徒・一般(募集人数は20人)

申込み

7月15日(金)までに、上下歴史文化資料館へ申し込んでください。

でんわ 62-3999

主催

府中市教育委員会 上下まちづくり協議会



フィールドワーク 翁座編

上下まちづくり協議会では、地域の子どもと大人が、共に上下の魅力や課題を発見しながら、地域の魅力を高めていく事業「天領あやめ塾・地域魅力づくりコース」を行っています。

第2回は『フィールドワーク 翁座編』です。

95年前芝居小屋として生まれた翁座。

「建物」としての翁座にスポットをあて、時代ごとに姿を変えながら現在に至る足跡をたどります。

この先、どんな翁座になるのかな。未来を思い描いてみよう！！

***新型コロナ感染防止の観点から中止になる場合もあります**



日時 令和2年9月26日(土)

10:00~11:30

集合 「翁座」

※8月17日に登録文化財になりました

講師 一級建築士 熱田 慎治さん

〔 歴史的建造物の活用に関する専門知識を持ち、市の委託を受けて翁座の調査をしている専門家です 〕

対象 小学校高学年・中学生・高校生・大人

参加費 高校生以下 無料

大人は500円(資料代・入館料など)

申込み 令和2年9月18日(金)までに資料館へご連絡ください

問合せ 上下歴史文化資料館 ☎62-3999

主催 府中市教育委員会 上下まちづくり協議会



フィールドワーク 町並み編

上下まちづくり協議会では、地域の子どもと大人が、共に上下の魅力や課題を発見しながら、地域の魅力を高めていく事業「天領あやめ塾・地域魅力づくりコース」を行っています。

第3回は『フィールドワーク 町並み編』です。

奈良女子大学の藤田盟児教授と、国の登録有形文化財「翁座」、「片野製パン所」、「旧上下警察署庁舎（上下町商工会館）」、「上下キリスト教会」などを探索しながら、上下の町並みの保存や活用について考えていきましょう。

***新型コロナ感染防止の観点から中止になる場合もあります**

日時 令和2年10月31日（土）

10:00~12:00

集合 翁座

講師 奈良女子大学教授 藤田 盟児先生

工学博士。専門は都市建築史・建築芸術分野。
全国各地の歴史的建築物・町並みの調査、保存整備に数多く携わっている。府中市グランドデザイン策定協議会委員、旧芦品郡役所庁舎移築活用検討委員会委員として、府中市に関わっていただいている。

対象 小学校高学年・中学生・高校生・一般

参加費 高校生以下 無料

大人は500円（資料代・入館料など）

申込み 令和2年10月27日（火）までに資料館へご連絡ください

問合せ 上下歴史文化資料館 ☎62-3999

主催 府中市教育委員会 上下まちづくり協議会



み よ し
三 次 市

家庭と地域をつなぐ



つくろろう！地域の家庭教育支援チーム

三次市では、社会教育委員会と連携して、すべての保護者が安心して子育てや家庭での教育を行えるよう、身近な地域で保護者への支援を行う家庭教育支援チームの設立に向けた人材育成や啓発活動を行っています。

家庭教育は、保護者が子どもに対して行う教育であり、すべての教育の出発点といわれています。また、家族のふれあいを通して、子どもが、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で、重要な役割を果たしています。

■家庭教育支援チームとは？

子育て経験者や子育て支援に関わる関係団体など、身近な人たちにより家庭教育をサポートするチームです。

家庭教育支援チームの取り組みには次のようなものがあります。



・親子やPTAの交流事業

- ・親子の体験活動
- ・親子料理教室

【事業例】

・本の読み聞かせ
・親同士の交流事業

親同士でお茶を飲みながら話せる場、親子で参加する体験学習や講座などの学習機会、地域の情報などを提供

■学びや交流の場の提供

活動紹介

■甲奴地区家庭教育支援チーム

甲奴地区家庭教育支援チームは、家庭教育支援チームとして文部科学省に登録されています。地域女性会、ピースベル甲奴・株式会社グリーンカウベル・カーターピーナッツ研究会・おはなし会サークルへびくんの皆さん・三次市母子保健推進員の5団体で構成され、今回紹介する子ども食堂をはじめとした、様々な活動を行っています。



■子ども食堂の様子

甲奴放課後児童クラブの子どもたちと先生を招いて行われました。冒頭は、(株)グリーンカウベル茨



木さんから、カーターピーナッツの栽培状況をクイズ形式で分かりやすく話していただき、子どもたちも積極的に手を挙げて答えていました。

そして、お待ちかねのお食事の時間。メニューは地元の食材を使ったものです。なかでも、カーターピーナッツを使ったデザートは、好評でした。おいしいごはんの後は、「へびくんの皆さんぽ」による読み聞かせや、マジックショーが開演。子どもたちは興味津々の様子。マジックショーでは大技が決まるたびにみんな驚いていました。

終始なごやかな雰囲気で行進し、子どもたちも、ふるさとの食や地域の人々のぬくもりを味わうひと時となりました。

★ チームインタビュー

★ 地域女性会・ピースベル甲奴

今回の子ども食堂を開くにあたって、他の団体から積極的に参加協力のお声をいただきました。それぞれが「自分たちに何ができるか」を考えており、他のグループとの連携の大切さを強く感じました。

保護者・学校との協働を続けていく中で、他の地域からも周知・注目されるようになりました。気付きは学校と共有し、今後の活動に生かしていきます。

★ 株式会社グリーンカウベル

食を通じた体験・交流を行うことにより、地元の食材に興味を持つてもらい、郷土愛を育むことができます。また、学校との連携により、食を通じた学びの実践に取り組んでいます。

「農」があれば、そこを出発点として様々な活動に広がっていく

とができるので、今後も、地産地消に取り組んでいければと思います。

★ カーターピーナッツ研究会

カーター大統領から贈られたカーターピーナッツの種を特産品として広める活動をしています。その活動の一環として、小童小学校でカーターピーナッツの栽培指導を続けています。

★ へびくんのおさんぽ

私たちは、子どもたちと一緒に本や人との出会いの場を共有できたら嬉しいと思っています。新しい本に出会うことで、暮らしの活力や、心の支えになってもらえたら幸いです。

変わらずこつこつと継続していくことで、地域に根差した活動となっていけたらと思います。

★ 三次市母子保健推進員 一同

私たちは、社会福祉協議会とも協力して、子どもと一緒に簡単なおもちゃを作ったり、お茶を飲みながら楽しい時間を過ごすというような活動をしています。

「ママカフェ」では、子どもたちと牛乳パックでギターのおもちゃを作るなど、親子のコミュニケーションの後押しをしています。

その他、「じいじとばあばの孫育て講座」では、祖父母とお孫さんのコミュニケーションの場づくりを行っています。

これらの活動を続けていくことで、地域ですくすく育つ子どもたちを、幅広い年齢層で見守っています。



あなたの地域にも
家庭教育支援チームを!

子どもは地域の宝です。
地域全体で子育てをサポートする「家庭教育支援チーム」を設立しませんか？

家庭教育支援
について学べる
講座はないの？

家庭教育支援
チームを作りたい
けど、方法が
わからない!

家庭教育支援
チームに入って子ども
の支援活動に関わり
たいけどどうしたら
いいの？



三次市社会教育委員会議では、
家庭教育支援チームについての
リーフレットを発行しました。

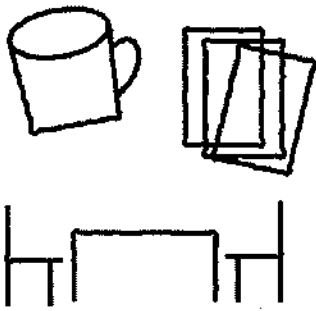
そんなあなたや地域を応援します
ぜひお問い合わせください

問 文化と学びの課文化学習係

(三次市社会教育委員会議事務局)

☎ 0824-6216191

FAX 0824-6216288



中高生 ~ 20代向け カフェイベント

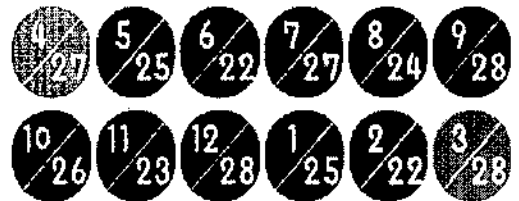
Wi-Fi つかえます

@三次CCプラザ
セントラルコート(1階)

おしゃべりしたり、ボードゲームしたり、
勉強してもいい、フリーなカフェスペースを
毎月第4土曜日オープン!

放課後や休日を過ごす、学校や職場、家じゃない
「サードスペース」を体験してみよう。
ひとりで、ともだちと、きてみてね。
予約は不要、無料!

毎月1回 第4土曜
昼1時から4時
OPEN



フリースペースCAFE



のみものとおやつを準備しています。

ひとりでできてもいいし、ともだちと待ち合わせでもいいよ。
本読んでもいい、おしゃべりしてもいい、ボードゲーム体験したり、お買い物してきたおやつを食べてもいいよ。

ボードゲーム体験

最近注目されてる、世界のいろんなボードゲームが体験できる! インストラクターもいるので遊び方も教えてもらえるよ。



1ゲーム所要時間15分~1時間 いくつやってもOK インストラクター:09.11.09.01.56.88

テーマトークイベント

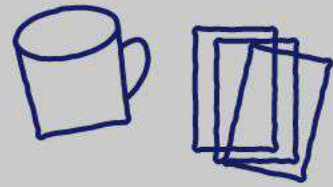
カフェdeトークセッション
毎月いろんなテーマでトークするよ。

2:30-3:30頃

出席希望の中高生~若者世代、募集中心~! トークしてみませんか?
申し込みや打ち合わせは、カフェイベント内!

10~20代ボランティアSTAFF募集!

「若者×ツナグバ」イベント企画~運営を一緒にやっていくメンバーを募集しています!! 興味ある方は、メールで連絡



中高生 ~20代向け カフェイベント

@三次CCプラザ
セントラルコート

2/11 祝

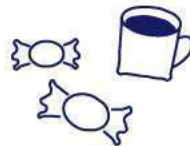
12:30-17:00

おしゃべりしたり、ボードゲームしたり、勉強してもいい、フリーなカフェスペースを1日だけオープン!

放課後や休日を過ごす、学校や職場、家じゃない「サードスペース」を体験してみよう。ひとりで、ともだちと、きてみてね。予約は不要で、無料です。

12:30-17:00

フリースペースCAFE



のみものとおやつを準備しています(無料)

ひとりでできていいし、ともだちと待ち合わせてもいいよ。本読んでもいい、おしゃべりしてもいい、ボードゲーム体験したり、お買い物してきたオヤツを食べてもいい。

12:30-17:00

トークイベント中は休憩

ボードゲーム体験

最近注目されてる、世界のいろんなボードゲームが体験できる!インストラクターもいるので遊び方も教えてもらえる。



1ゲーム所要時間15分~1時間 いくつかやってもOK インストラクター:ひろしま森のおもちゃ協会

14:30-16:00

トークイベント開催!

「居場所って、なんなん?」

Special guest



瀬川知孝さん
(ともくん)

1988年岩手県盛岡市生まれ。小学生の頃はよく川で遊ぶアウトドアな子だったけれど、中学高校時代から読書と音楽にはまり、徐々にインドアになる。大学進学を機に上京。教育と文学を学びつつ、バンドに没頭。ベースを弾くが、演奏するより聴く方が好き。私立高校国語の先生を経て、今はNPO法人カタリバが運営する中高生の秘密基地b-lab副館長。

福間美保さん
(POMU)



1986年三次市生まれ。3キロ行ってやっと自販機がある田舎で育つ。学生時代はバレーボールっ子。海外や国内たくさんの旅を経て、みんなの笑顔を描いていきたいと思うようになり、とびっきりの笑顔を描くスマイルアーティストと砂で物語を描くサウンドアーティストに。最近大好きな三次に帰郷。育った地元拠点を全国へ飛び回っている。

田園文化センター開館 30 周年記念 図書館まつりを 開催しました！

開催日：令和元年 9 月 14 日（土）10：00～15：30

会 場：庄原市田園文化センター

庄原市田園文化センター開館30周年記念 図書館まつり

10：00 ○開会

10：05 ○スライド&トーク
写真絵本作家 小寺卓矢さん

13：00 ○おはなし会
子供司書①

おはなしのいずみ

子供司書②

15：30 閉会

10：00～

- お抹茶体験会（体験料 100 円）
- ハンドメイドコーナー（しおりづくり）
- 図書館ウォークラリー

クイズに答えて図書館制覇！！

13：00～

- 古本市

今年度、家庭教育支援チームの皆さんと内容を検討し、準備してきた「図書館まつり」を開催し、多くの方にご来場いただき、賑やかに終えることができました。この日の来場館者は、645 人！新県美展も開催期間中であったことから、相乗効果があったと思っています。

前日準備から当日スタッフとしてご参加いただいた皆さんはもちろん、チーム会議でアイデアを出して下さった方もありがとうございました。

前日 14 時から会場準備を行いました。「倉田百三文学館」を「講演会場」にするため展示品を運び出し、客席用のイスを 2 階から持って下り、他のコーナー配置・・・と肉体労働の後、当日来館者に配布する記念品の袋詰めや講演中のワークショップ用紙を準備と、今度は細かい作業。集中して作業いただいたお陰で、当日来場者を迎える準備は万端です！

ドキドキで迎えた当日。「たくさん来てくださるかな・・・」「楽しんでいただけるかな・・・。」前回、開会時刻を遅らせることになってしまったのを思い出していましたが、不安をよそに、開会前から会



場は満員になり、客席を追加するほど、大勢の方が来場してくださいました。安心したもの束の間、「席が足りないけど、ごめんなさい。」「ワークショップ用紙が足りないかもしれないので、追加で作らなくちゃ」とバタバタでした。

講演会は、北海道から来てくださった写真家で、写真絵本作家の小寺卓矢さんによる「スライド&トーク」。アンケートでもたいへん好評で、「心が癒された」小寺さんのやさしい人柄に「また来ていただきたい」という声もありました。ワークショップでは、ミニ絵本を全員に配布し、作ってもらいました。「写真 小寺卓矢 文 ○○○○」。小寺さんの写真を見て感じた言葉や文章をそれぞれに書き入れます。絵本なんて作ったことないという人が多い中、楽しんで参加していただきました。



【クラフトコーナー】

こちら朝から大盛況！「これを作りに来た」というご家族もおられました。

準備していた台紙だけでなく、ラミネートフィルムに直接飾り付けをするなど、独創的な発想で、思い思いに楽しく作業をしてくださいました。



【お抹茶体験コーナー】

今回は、限定40名でしたが、お昼には残り15人分と大好評でした。新県美展に来られた方も寄ってくださったようです。子供とお母さん、孫とおばあちゃんが席に着き、お抹茶を飲まれました。今回も和服でおもてなし。各テーブルにも、それぞれ異なる花台に野の花を飾るなど、長机にパイプイスとは思えない雰囲気作りをしていただき、美味しいお茶をいただく空間となっていました。





【古本市】

初の試みなる図書館での除籍本の古本市を行いました。
除籍本を段ボール箱やカートに並べ、来場された方が気に入った書籍を持って帰ります。懐かしい雑誌や自分では買わなかったジャンルの本との出会いの場です。選んだ本を袋に詰めたり、段ボール箱に入れてもって帰られる方もおられました。



【おはなし会】

午後からは、おはなしのいずみと、子供司書のコラボによる「おはなし会」を行いました。

「子供司書」は、「空」と「秋」をテーマに、絵本を選書してくれました。多くの人の前で、緊張しながらも、分りやすく絵本を読んでいる姿は、とても頼もしく見えました。

これからも、読書の楽しさをみなさんに伝えてください。

「おはなしのいずみ」の9月のテーマは「おばけ」です。

『おばけなんてないさ』『こぞうさんとおばけ』『とうふこぞう』の読み聞かせ、『こそだてゆうれい』の語りや『ネコとクラリネットふき』では、クラリネットとピアノの演奏が加わり、楽しい一時を過ごしました。



【館内ウォークラリー】

田園文化センターには、図書館だけではなく、倉田百三文学館、歴史民俗資料館などがあります。館内のいろいろな場所に隠されている『秘密の暗号』を探しながら回って行くと、「さいきんよんだほんは？」と質問が出てきます。

参加者は、その答えを「ブックツリー」に貼り、参加賞の記念バッジと鉛筆を受け取っていました。

この日、田園文化センター来場者は645人でした。

来場された皆さんには、記念品として貸出図書を入れられる特製エコバックをプレゼントしました。

スライド&トークで参加者の皆さんに作っていただいたミニ絵本は、10月末まで田園文化センターに展示していますので、ぜひ見に来てください。



ありがとうございました



令和2年度ジュニアリーダー育成事業

未来の1ページを 刻みにいこう!

KOI KOI

ジュニアリーダーズクラブ



参加者
募集中

今の時間は今しか使えない！
みんなでいっしょに同じ時間を過ごして未来に生かそう！

【ジュニアリーダーで身に付く力】

- ☆人に思いを伝える力
- ☆人の思いを理解する力
- ☆人を動かす力

学年や学校が違う仲間と一緒に活動したり、先生や親とは違うおとなと交流する経験が、社会で必要とされる力を育てます。多くの人と関わることができ、多くの人に支えられていることに気づける場所です。

定員

中学生 25名 小学6年生 10名
小学5年生（プレ参加） 5名
高校生（スタッフ参加） 10名

参加費

無料 ※但し本人の飲食代が必要になります。
（食事回数×500円程度）

日程

裏面を見てね

申し込み期限

6/19(金)

事業説明会

6/27(土)

13:00~14:00
総合市民会館にて
開催します。

大竹市教育委員会生涯学習課社会教育係

〒739-0605 大竹市立戸一丁目6-1(総合体育館内)

TEL:28-5680(月~金 9:00~17:15)

FAX:53-5801(いつでも可) E-mail:seigaku@city.otake.hiroshima.jp(いつでも可)



事業の目的

学校も年齢も異なる仲間との体験学習を通し、自立心・社会性などを育みコミュニケーション力や忍耐力を高め、将来の大竹を担う青少年の育成を目指します。大竹の良い所を再発見してもらうことも目的の一つです。

募集対象者

次の3つ全てに該当する方

- 市内在住または在学の小学5年生～高校生
- 心身ともに健康で規律ある行動ができる
- 原則全プログラムに参加できる

※定員を超えた場合は選考をおこないます。この場合、選考方法等は申込者に通知いたします。

※今年度のプレ参加枠は小学5年生のみとします。

お申し込み方法

次の方法で生涯学習課へご連絡ください。(連絡先はオモテに表記しております。)

- 電話
- FAX
- メール

※FAXで申し込まれる場合は、下記申込書にご記入の上、送信してください。

※メールで申し込まれる場合は、件名を「ジュニアリーダー申し込み」とし、「氏名、性別、学校名、学年、住所、電話番号」を入力の上、送信してください。

個人で負担していただくもの

- 飲食代(食事回数×500円程度) ※回ごとに集めます
- 公共交通機関を利用した場合の交通費
- 事業実施中における病気または本人の責に帰すべき事故による治療費・入院費
- 任意の旅行傷害保険
- その他個人の用に必要な経費

事業説明会について

本事業の目的や注意点等を説明させていただきますので、この事業に参加する者及び保護者の方は出席いただきますようお願いいたします。

なお、参加者の出席が難しい場合は保護者のみの出席、また高校生は参加者のみの出席でもかまいません。

▼日 程 ※今年度は宿泊は行いません。日程や内容は変更になる場合があります。

No.	日にち	内 容	場 所
1	7月11日	～出会う～ 開講式、野外炊飯、グループワーク、自分への手紙作成	自然の家「やさか」
2	8月8日	～深める～ 外部講師を招いた防災に関する講義・体験活動	自然の家「やさか」
3	9月19日	～自立～ 職場体験、大竹再発見、オリエンテーリング	阿多田島
4	10月17日	～広げる～ 自然観察、レクリエーション等	自然の家「やさか」
5	11月7日	～歩む～ 最終回でのプログラムの企画	自然の家「やさか」
6	1月16日	～まとめ～ 企画したプログラムの実施、閉講式	自然の家「やさか」

▼申 込 書 (FAX 53-5801)

大竹市教育委員会生涯学習課社会教育係 行

氏名 (ふりがな)		学校名	
電話番号		学 年	
住 所		性 別	

主役は
65歳から

東広島

熟年マイスター

教育講座

人生、
学び、
これから。
ここから。

人生100年時代。実は長い「これから」をどう生きますか？
長い人生をより幸せに生き抜くために、「ここから」学びませんか？

詳しくは中面へ

人間・生活専攻コース

こんなことを学びます！

高齢社会を取り巻く身近な問題や、生きがいつくり、社会参画など生涯現役のための自己の新しい生き方を学びます。

回	日時	内容	場所
1	10月 1日(木) 14時～16時	開講式 【記念講演】笑いと涙、絆の力！ 福寿への生活リズム健康法 講師：田中 秀樹 氏 (広島国際大学健康科学部 学部長)	東広島商工会 議所会館文化 ホール
2	10月15日(木) 10時～12時	SDGs カードゲームから学ぶ	東広島商工会 議所会館文化 ホール
3	10月29日(木) 10時～11時30分	支えあいの地域づくり	くらら 小ホール
4	11月12日(木) 10時～11時30分	世界の問題について考えるワーク・ 民族衣装、楽器体験など	JICA中国
5	11月26日(木) 10時～11時30分	金融犯罪・トラブルを防ぐ	くらら 小ホール
6	12月10日(木) 10時～11時30分	(仮)実践者は語る	くらら 小ホール
7	12月19日(土) 14時～16時	【特別講演】 シニアライフを満喫するために 講師：清川 徹 氏 (NHK広島放送局アナウンサー)	東広島商工会 議所会館文化 ホール1・2
8	1月14日(木) 10時～11時30分	救急救命講習 (AED・VR避難体験)	東広島消防署
9	1月28日(木) 10時～11時30分	これからの地域づくり	くらら 小ホール
10	2月 4日(木) 14時～16時	修了認定及び閉校式 【記念講演】(仮)人生百歳を生きる 講師：山内 吉治 氏 (東広島熟年大学学長)	東広島商工会 議所会館文化 ホール

※東広島芸術文化ホールくらら（略称くらら）がメイン会場となります。

健康・スポーツ専攻コース

こんなことを学びます!

実際に身体を動かしながら、健康寿命を延ばし、身体の衰えに備えるための方法を学びます。

回	日時	内容	場所
1	10月 1日(木) 14時～16時	開講式 【記念講演】笑いと涙、絆の力! 福寿への生活リズム健康法 講師:田中 秀樹 氏 (広島国際大学健康科学部 学部長)	東広島商工会 議所会館文化 ホール
2	10月15日(木) 14時～15時30分	食べる幸せ～歯が命～	東広島商工会 議所会館文化 ホール
3	10月29日(木) 14時～15時30分	高齢者新体カテスト	東広島運動公 園サブアリー ナ
4	11月12日(木) 14時～15時30分	パラスポーツ体験「ボッチャ」	おりづる体育 館
5	11月26日(木) 14時～16時	愉快的ウォーキング	憩いの森公園
6	12月10日(木) 14時～15時30分	ACP(人生会議)	くらら 小ホール
7	12月19日(土) 14時～16時	【特別講演】 シニアライフを満喫するために 講師:清川 徹 氏 (NHK広島放送局アナウンサー)	東広島商工会 議所会館文化 ホール1・2
8	1月14日(木) 14時～15時30分	筋トレ健康体操体験	東広島運動公 園体育館
9	1月28日(木) 14時～15時30分	これからの地域づくり	くらら 小ホール
10	2月 4日(木) 14時～16時	修了認定及び閉校式 【記念講演】(仮)人生百歳を生きる 講師:山内 吉治 氏 (東広島熟年大学学長)	東広島商工会 議所会館文化 ホール

募集要項

- 1 講座の種類：①人間・生活専攻コース
②健康・スポーツ専攻コース
- 2 対象：東広島市に住む65歳以上（令和2年4月2日現在）
- 3 定員：各コース30人（抽選）
- 4 申込方法：裏面の申込用紙にご記入のうえ、郵送または電話、FAXでお申込みください。
- 5 申込期間：令和2年8月3日（月）～令和2年9月16日（水）必着
- 6 その他
 - （1）修了認定は全10回のうち、5回の出席を必要とします。
 - （2）講座修了後は、「熟年マイスター」の称号を授与します。
 - （3）修了認定を受けた方は、次年度に別コースを受講することができます。次年度に同じコースを受講することはできません。
 - （4）同時に複数のコースを受講することはできません。
- 7 申込・問い合わせ先：東広島市教育委員会生涯学習課
（〒739-8601 東広島市西条栄町8-29）
電話（082）420-0979
FAX（082）422-1610



東広島市公認マスコットキャラクター「のん太」

東広島熟年マイスター教育講座 申込用紙

ふりがな	
お名前	
年齢	歳（令和2年4月2日現在）
住所	〒
電話番号	（ ） ー
希望講座	<p>●希望する講座どちらか1つに○をつけてください。</p> <p>①人間・生活専攻コース （ ）</p> <p>②健康・スポーツ専攻コース（ ）</p>
備考	<p>●留意点やご要望があればご記入ください。</p>



東広島市公認マスコットキャラクター「のん太」

「東広島熟年マイスター教育講座」の実施について

1 案の要旨

人生100年時代を見据え、高齢者（65歳以上）を対象に、「老い」を生き抜くために必要な知識を学ぶ「第二の義務教育」として、「東広島熟年マイスター教育講座」を実施しようとするもの。

2 開催の目的

我が国は超高齢化社会に突入し、人生のうちの長い期間、「老い」を生きてゆく人々が確実に増加している。これまでの「老い」の人生は、自己防衛、自己責任等、自己完結型に頼っていたが、これからは「老い」を生き抜くために必要となる基礎的な知識や技能を学び、自己を高めるとともに、地域社会に貢献できる人間像が求められる。

そのため、本講座は、これまでの一般成人対象の講座に加え、高齢者に限定した認知症予防、特殊詐欺対策をはじめとした現代的課題や、本市の福祉制度、地域づくり、幸せづくりや健康課題など、「老い」の特性を生かす学びを展開していく。

このように「老い」を体系的に学ぶ活動に参加することで、自らの生きがいを創造するとともに、それぞれの地域での新たな縁の創出、高齢期の孤立化防止に資する。

3 講座の位置付け

本講座は、昨年度策定した「東広島市生涯学習推進計画」の基本施策（1）「豊かな学びへの支援」、施策の方針①「現代的・社会的課題に対応した学習機会の提供」の「人生100年時代を見据え、高齢者を対象とした講座の展開」の具体的事業とする。

4 講座の概要

（1）講座名及び内容

「東広島熟年マイスター教育講座」 ※マイスター：ドイツ語で親方、名人という意味

（2）講座種別

老いを生きるために、老いの基礎・基本を体系的に学び、実践に生かせるものとする。

ア 「人間・生活専攻コース」

高齢者に身近な課題をはじめとした教養講座に加え、地域コミュニティへの主体的な参加の促進を図る

イ 「健康・スポーツ専攻コース」

健康寿命を延ばし、身体の衰えに備えるための方法を学ぶ

（3）講座開催時間及び回数等

両コースとも、1講座（90～120分）の10回の連続講座（令和2年10月～令和3年2月までの原則、隔週木曜日、定員30名）

（4）講座の開催場所

原則、東広島芸術文化ホールくらら（中央生涯学習センター）を拠点とし、カリキュラムの内容に応じ、関連施設及びフィールドワークで実施する。

※カリキュラムの全体概要及び日程等については、別紙参照。

ブックデビュー

東広島に生まれてきてくれたあかちゃんが、これから生きていく上で欠かせない「ことば」に、まず、人のぬくもりの中で出会って欲しいと願う人々が連帯する活動です。

「ことば」の蔵とも言える絵本や図書館を手がかりとして、様々な社会的子育て支援事業と結合しながら、あかちゃんの「ことば」の獲得を手助けする事業です。



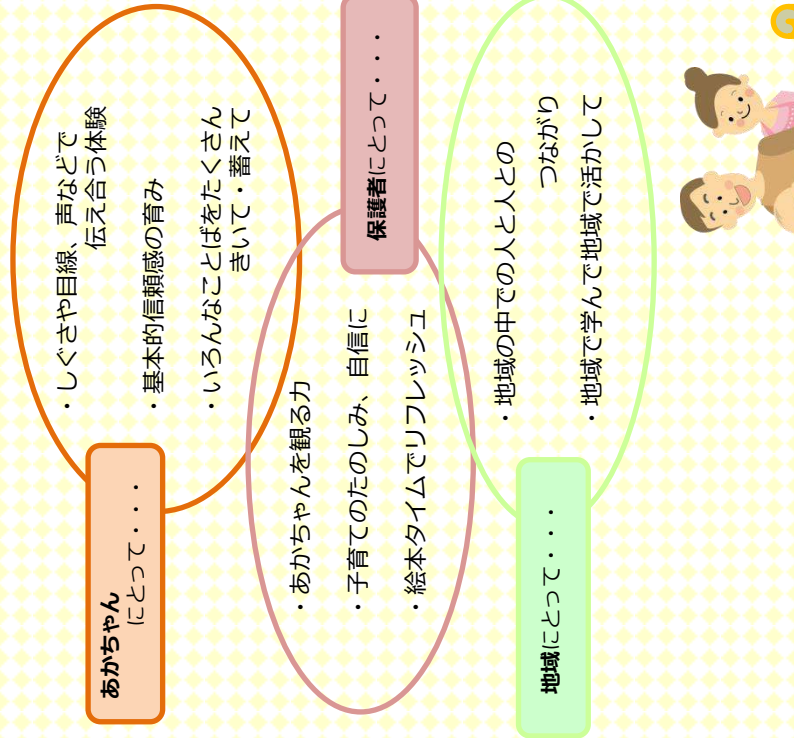
活動窓口

東広島市教育委員会生涯学習部生涯学習課
TEL 082 (420) 0979 FAX 082 (422) 1610

ブックデビュー

ブック＝ことば（外との交流）

ことば＝自己表現と他者理解のためのツール



- ブックデビューで大切にすること
- ① あかちゃんの様子を見ながらことばがけ
 - ② 成果を急いで求めない
 - ③ あかちゃん一人ひとりの成長にあわせた手助け
 - ④ 絵本などを使って楽しみながら
 - ⑤ お腹の中のあかちゃんにも
 - ⑥ 支援者としての関わりを

東広島ブックデビュー推進活動

これまで…

ボランティア団体による、乳幼児健診会場での絵本の紹介や読み聞かせなどの活動や図書館による、あかちゃん向けのおはなし会などあかちゃんと絵本をつなぐ活動を行ってきました。



2018年、広島県教育委員会が「あかちゃんへことばのプレゼント」（家庭教育啓発資料）を作成しました。市や図書館は、ことばを添えて、この冊子を配布しています。

2019年6月、ブックデビュー推進活動事業のスタートとして、この冊子の編集を監修された、今井むつみさんに、なぜ、あかちゃんへのことばがけや絵本の読み聞かせが大切であるのかについてお話を聞きました。

大人ができることは、ことばを「教える」ことではなく、「発見」の手助けをすること。あかちゃんの様子に合わせてやりとりを楽しみながら、たくさん言葉をかけることで、あかちゃんに「ことばの力」が蓄えられていきます。

東広島市では、2019年から本格的にブックデビューの推進に取り組んでおり、ブックデビュー推進会議で企画した講演会などを実施しています。

～地域の主なブックデビューの展開の場～

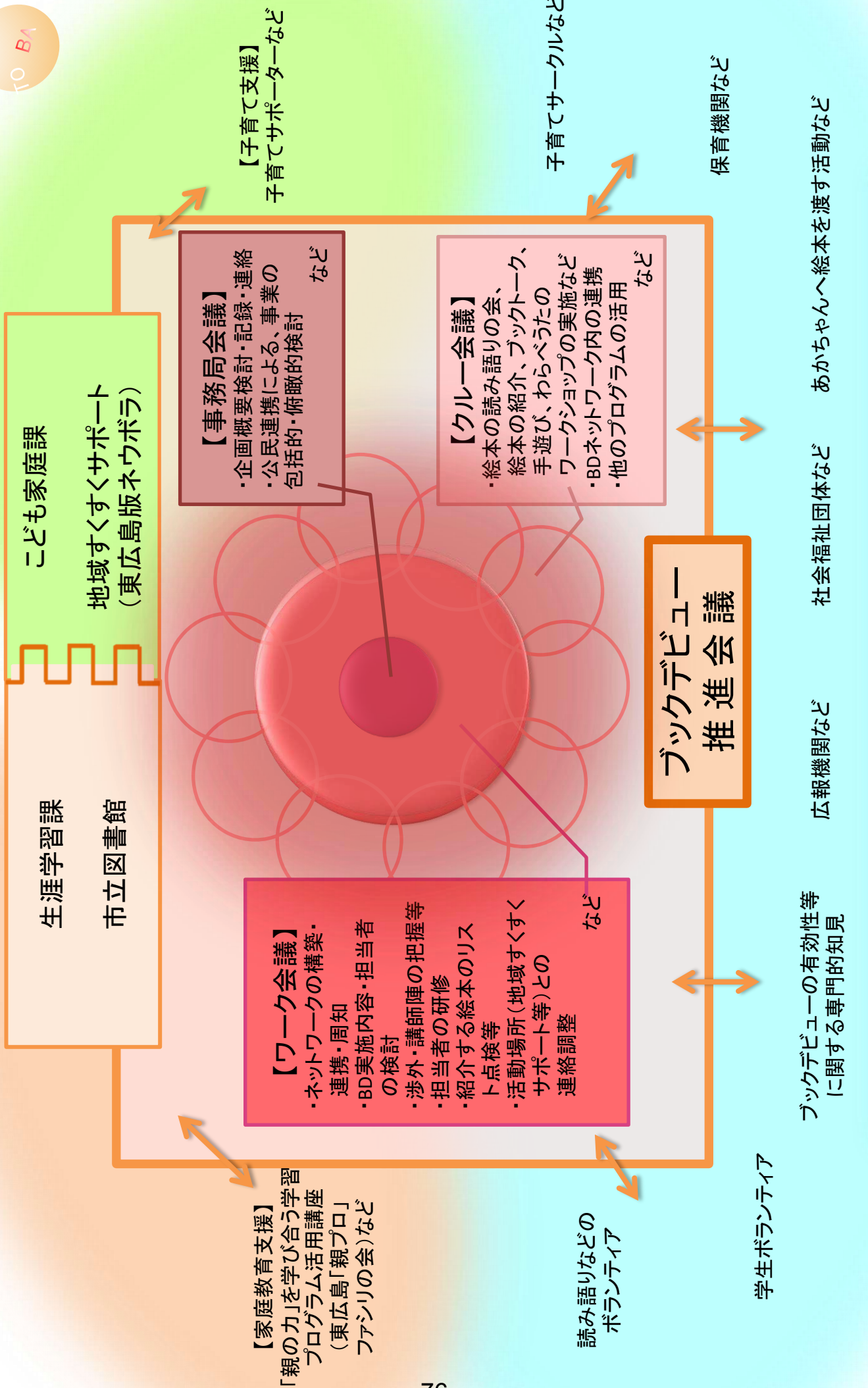


妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援をするために、令和元年度、市内10か所すべての地域にオープンしました。専門スタッフに子育ての色々な不安や悩み、聞いてみたいことを相談することができる、地域の子育て支援の場です。

胎児や乳児の、お父さんお母さんが実際に読み聞かせを体験したり、あかちゃんへのことばがけや親子のコミュニケーションの重要性を体感するブックデビューを展開する重要な場でもあります。

東広島ブックデビュー構想図

令和元年度



多様な社会資源との連携

お待ちしています！

これまでの支援活動！

●学校支援活動

登下校の見守り、学校周辺環境整備、本の読み聞かせ、授業の補助や部活動の支援等の活動



▲小学校の学習支援

●放課後子ども教室

放課後等に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施し、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくり

さらに協働活動では！

●家庭教育支援活動

地域全体で子どもたちを見守る活動を推進する中で、孤立しがちな保護者も、地域住民との交流を通じて気軽に悩みを相談しやすくなるなどの家庭教育へつながる支援

●地域社会における地域活動

子どもたちが学校内だけでなく地域に出て行き、地域の伝統行事、イベント、お祭りなどに、実際に担い手として参画する取組



▲地域社会における地域活動 ▲ふるさと学習

●ふるさと学習

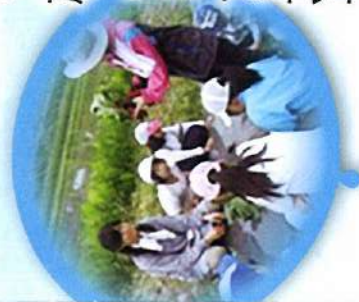
子どもたちが、魅力ある郷土の歴史や文化をはじめ、先人の努力や知恵を学ぶことや、郷土を素材とした体験的な活動を通して、課題を自ら見いだし、協働して探究活動に取り組む態度を育てるとともに「ふるさと廿日市」への愛着と誇りを持たせる活動

地域学校協働活動

あなたの愛が地域の未来を創る

廿日市市地域学校協働活動の推進に向けて

学校を核とした地域づくりをめざして



廿日市市教育委員会
生涯学習課

みなさまの支援

地域学校協働本部

従来の地域と学校の連携体制を基盤として、よ
多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩
かなネットワークを形成することにより、地域学校
協働活動を推進する体制です。地域学校協働活動
推進員(地域コーディネーター)が中心となって、地
域で運営し、学校のニーズに応じてボランティアが
集めたり、地域からの要望を調整して学校に伝えら
れます。より幅広い層の地域住民が参画し、ネッ
ワークを形成することにより、地域を活性化して
いきます。

地域コーディネーター

地域と学校の連携・協働をコーディネートし、学
校や地域住民、企業、団体・機関等との連絡・調整
を行います。

地域学校協議会

地域学校協議会では、地域と学校が、地域で育つ子
どもたちのめざす姿や活動の目標を共有します。子
どもたちの成長にとって何が重要か、そのためにど
のような活動が
必要なのか等、活
動の基本方針や
運営に必要な事
項について協議
し、決定します。



活動調整会議

活動調整会議は、学校からの支援依頼の調整や地
域づくりの活動内容の調整をします。また、地域や
学校の情報共
有を行う中で、
具体的な取組に
ついて協議し、
つながりづくり
を行います。



廿日市市

あなたの愛が地域の未来を創る

あなたも子どもたちと
このような活動を
してみませんか？

学び

予習や復習、補習、
読み聞かせなどの
学習活動



体験

スポーツや文化芸術
活動などの体験活動



交流

地域の大人や
異年齢の子どもとの
交流活動



遊び

けん玉やお手玉などの
昔遊びや様々な遊び



見守り

登下校や学習中の
安全の確保を図る



あなたの愛が
地域の未来を創る

【発行】 廿日市市教育委員会
【編集】 廿日市市教育委員会生涯学習課
【住所】 〒738-8501 廿日市市下平良一丁目11-1
【TEL】 (0829) 30-9203
【FAX】 (0829) 32-5163

あなたの愛が地域の未来を創る

地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い層の地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支え、ともに、「学校を核とした地域づくり」をめざして、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。具体的には、学校支援活動、放課後子ども教室、土曜日の教育活動、家庭教育支援活動、学びによるまちづくり、地域社会における地域活動等、幅広い層の地域住民等の参画によって行われる活動が考えられますが、それぞれの地域や学校の実情、特色に応じて創意工夫していくことが大切です。



子どもたちにとって

- 自己肯定感が高まる
- 地域への愛着がわく
- 専門的な指導を受ける
- 学力が向上する
- コミュニケーション能力の向上
- 将来の自分の生き方の発見

これまでの支援活動！

●学校支援

活動することで子どもたちや地域の人と顔見知りになり、まちの中で挨拶する機会が増えました。



さらに協働活動では！

美術館

専門家に解説をうけながら作品を鑑賞したり、創作体験をします。



まちづくり

子どもたちの素敵なアイデアが、まちづくりに生かされます。

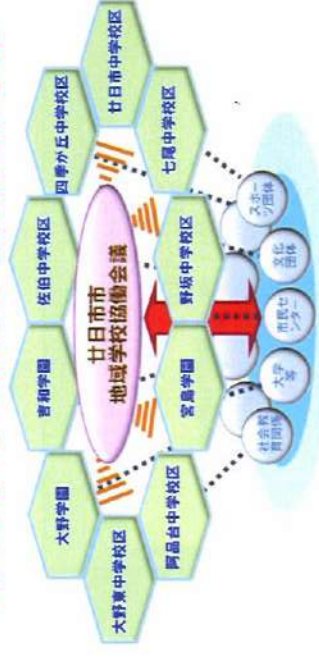


地域学校協働活動

できる人が できることを できるときに



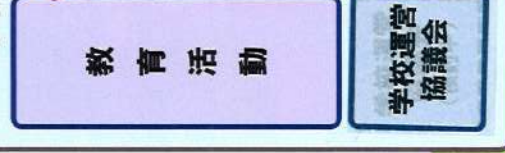
廿日市市地域学校協働会議



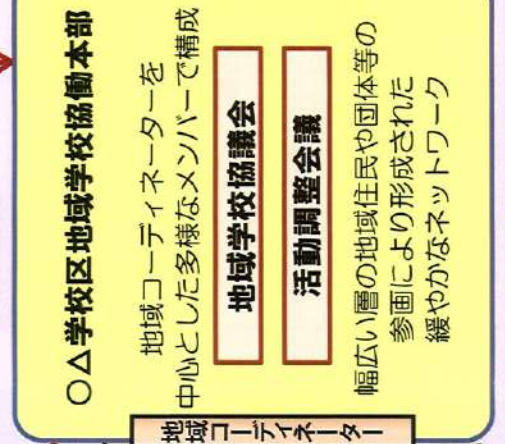
廿日市の全ての地域学校協働本部の地域コーディネーターや代表等が一同に会し、研修や意見交換等を実施します。会議では、先進事例の情報発信・収集を行ったり、地域学校協働活動に係る各本部の取組や市民センター・企業・大学等の活動内容や人材等の情報の共有を行ったりします。



学校教育



社会教育



地域にとって

- 生きがいや自己実現につながる地域が活性化
- 顔の見える関係づくりの実現

ボランティアにとって

- 経験や知識を活かすことができる
- 子どもたちとの挨拶や会話が增える

子どもたちからの感謝！

●感謝の気持ち

子どもたちが、感謝の気持ちをこめて、手紙を書いたり、感謝の会を行ったりします。



目標を地域と学校で共有



地域活動

地域の伝統文化を子どもたちが継承します。



市民センター

市民センターを拠点に活動する自主活動グループが知識と経験を活かして子どもたちをサポートします。



企業・スポーツ団体

子どもたちの興味・関心・意欲が、将来の優秀な社員や選手を育てます。



江田島 しましま スタンプ ラリー

図書館の本を
30冊読んで、
記念品を
もらおう!

江田島図書館キャラクター
『本読み小僧』



大柿図書室キャラクター
『かきぼん』



能美図書館キャラクター
『みかぼん』

開催期間

令和2年7月6日(月)～9月30日(水)

スタンプラリーの台紙は、江田島図書館、能美図書館、大柿図書室、
沖美公民館図書室に置いてあります。

期間中、江田島図書館、能美図書館、大柿図書室、沖美公民館図書室の
本、雑誌、まんがを30冊読んでスタンプを集めた方に、
記念品として、先着500名にオリジナルフェイスタオルを差し上げます。
何度でもチャレンジできますが、記念品の受け取りは一人1回のみと
させていただきます。

主催 / 問い合わせ先:

江田島図書館(0823-42-1417) 能美図書館(0823-45-0075)


大柿図書室(0823-57-3071) 沖美公民館図書室(三高支所)(0823-47-0211)

※沖美公民館図書室は、8月11日から三高交流プラザ内に移転します。

令和2年度広島県立生涯学習センター調査研究

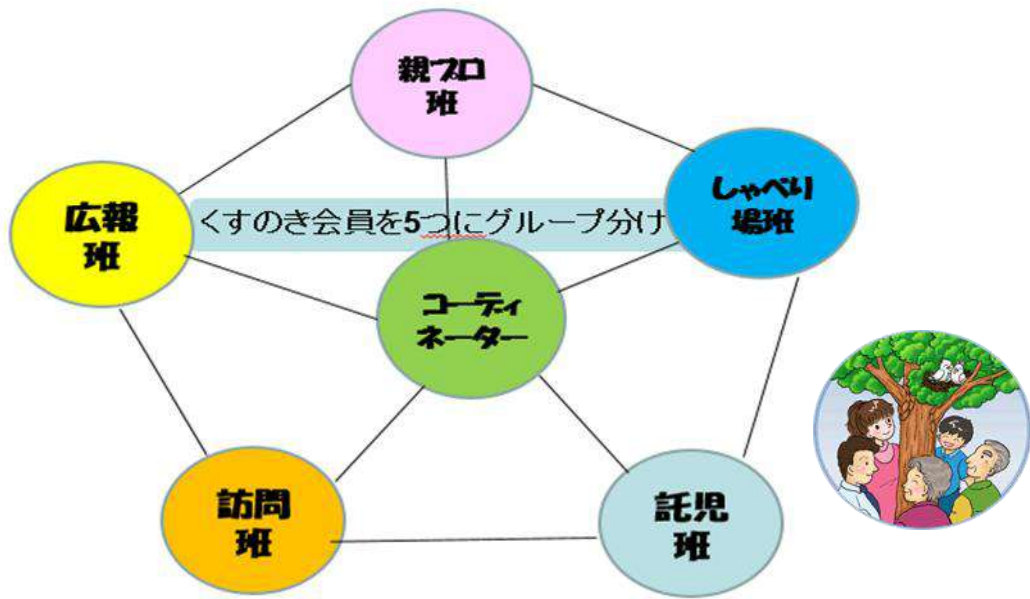
「市町における生涯学習振興・社会教育行政の現状と課題に関する実態調査」

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	府中町家庭教育支援チーム (呼称:くすのき) URL: http://www2.town.fuchu.hiroshima.jp
②活動拠点	安芸府中生涯学習センター くすのきプラザ
③活動範囲	町内全域
④組織体制	<p>151人</p> <p><u>コーディネーター 6人</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員1人 ・主任児童委員1人 ・人権擁護委員1人 ・社会教育委員1人 ・公民館運営審議員1人 ・元教員1人 <p><u>ファシリテーター 151人(コーディネーター6人を含む)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員1人 ・人権擁護委員1人 ・社会教育委員2人 ・民生委員 児童委員4人 ・学校支援地域本部コーディネーター3人 ・子育て支援センター保育士4人・放課後子供教室ボランティア10人・PTA役員15人・町職員35人・その他76人 
⑤活動開始年度	<u>平成24年度</u>
⑥問合せ先 【公表可能な連絡先】	(部署・氏名等)府中町教育委員会事務局社会教育課 (TEL)082-286-3272 (E-mail)syakaikyoiukuka@town.fuchu.hiroshima.jp

(2) 活動内容について

<p>①活動形態 (複数チェック可能)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/>保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/>保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/>アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/>その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/>その他(児童センターでの子育て相談、乳幼児健診等での託児、不登校児童生徒の親の支援) </p>
<p>②活動対象</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/>乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/>小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/>中学生 <input checked="" type="checkbox"/>高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施 </p>
<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 『親の力』をまなびあう学習プログラム(通称 親プロ)を活用した出前講座 <ul style="list-style-type: none"> 講座実施機関の開拓 ファシリテーター(進行役)の養成・ステップアップ研修 地域課題を踏まえた独自教材の作成 コミュニティ・スクール導入校での「ヨガ・しゃべり場」 子育て相談(フリートーク) 不登校児童生徒の保護者の支援「カフェ くすのき」「親どうしが語り合う会」 託児サービス及び各種研修会の講師等 <p>家庭教育支援の支援イメージ図</p>



1. 『親の力』をまなびあう学習プログラム(通称 親プロ)を活用した出前講座

・講座実施機関の開拓

・実施回数、受講者数 82回 1,728名 【平成29年度実績】
43回 1,023名 【平成30年度実績】

・実施場所

【平成29年度実績】

保育園	25回
幼稚園	4回
小学校	18回
中学校	3回
高等学校	17回
放課後子供教室	3回
公民館	4回
子育て支援センター	3回
子育てサークル	3回
その他	2回



④活動の
成果
(活動実績
がある
場合)

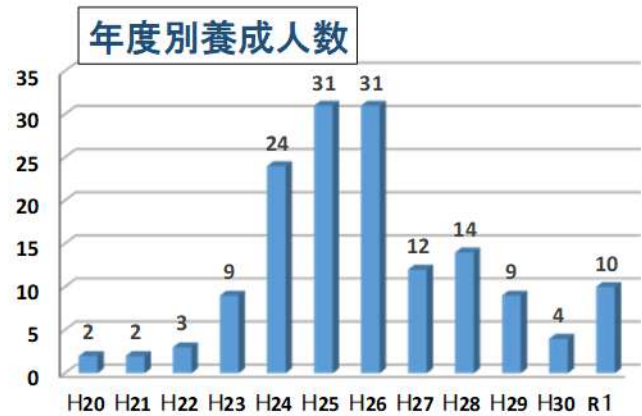
⇒小中学校との連携や各種団体等への働きかけ等により、年々、講座の実施回数及び受講者数ともに増加している。(※H30は災害の影響等あり)

・ファシリテーター(進行役)養成・ステップアップ研修

・ファシリテーター養成総数 151名【令和元年度現在】

(内訳)

- ・教育委員・社会教育委員
- ・民生委員・児童委員
- ・学校支援地域本部コーディネーター
- ・子育て支援センター保育士
- ・放課後子ども教室ボランティア
- ・PTA本部役員
- ・自主サークル会員
- ・行政職員
- ・一般(公募)
- ・その他(県・他市町職員)



⇒府中町ホームページへ募集案内の掲載や、チラシの作成等により、H24年当時の目標を上回る事ができた。

・地域課題を踏まえた独自教材の開発

教材1 イヤイヤエーン！エーン！（0～2歳の親を対象）

教材2 鬼は外～福は内！？（3～6歳の親を対象）

教材3 はやく、宿題やりなさい！！
（小学校1～3年生の親を対象）

教材4 寛太くうは青春真ただ中！？
（小学校高学年～中学生の親を対象）

教材5 ただ今 ゲームに夢中！！
（小学校4～6年生の親を対象）

教材6 朝ごはんを食べよう！…レベル1と2
（未就学児の親を対象）

教材7 「寝る子は育つ」ってホント！？
（未就学児の親を対象）

教材8 スマホに子守りをさせてませんか！？
（未就学児の親を対象）

親コミ 「ちゃんとしてね！」で伝わってる？



⇒実施後の振り返りや受講者からの意見を反映し、地域にとって重要なテーマの教材を生み出す事ができている。

2. コミュニティ・スクール導入校での「ヨガ・しゃべり場」



ヨガ後、しゃべり場
(月1回)

⇒認知度が高まり、参加者が増えた。また、参加者からは「小学校へあがる不安が解消された」などの声が聞かれた。

3. 子育て相談(フリートーク)



南北の児童センターを訪問して子育て相談(月1回程度)

⇒認知度が高まり、参加者が増えた。また、参加者からは「ちょっとした心配ごとを聞いてもらえてうれしい」などの声が聞かれた。

4. 不登校児童生徒の保護者の支援「カフェ くすのき」「親どうしが語り合う会」



(グループカウンセリングの様子)

「カフェ くすのき」
平成29年11月から開始
(親子で参加できる)
手芸・工作・カラーセラピー・ア
ロマセラピー後、お茶を飲みな
がら話す会。
自然と自分の悩みや気にかか
ることを皆さんに話し、共感し
て聞いてもらったりしている。

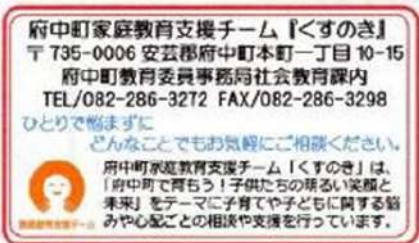
「親どうしが語り合う会」
令和元年6月から開始(月1回)
支え合い、励まし合えるような交流
会や、不登校について勉強できるよ
うな学びの会。保護者の皆さんのお
声に基づき、講師を招いたり、講演
会を開催している。

⇒回数を重ねることで繋がりができ、定期的に参加してくれるようになった。保護者の皆さんの要望にお応えし、講演会を開催することができた。

5. 託児サービス及び各種研修会の講師等



関心を持ってもらうために、広島東洋カープの協力を得て、カープ坊ややスライリーをあしらった『乳幼児期』『学童期』『思春期』の3タイプを作成。裏面には家庭教育支援チームの連絡先を記載。
令和元年1月より生後9か月健診で『乳幼児期』シートを配布開始。『学童期』『思春期』は小中学校入学式で新入生の保護者に配布。



裏面には
チームの連絡先

⇒託児サービスを行うことで講座等への参加者が増加した。また、各種研修会等の講師等を務めることで各種団体との連携が生まれたり、メンバー自身の力量の向上につながっている。

⑤活動財源

- 文部科学省補助事業(事業名:)
- 文部科学省委託事業(事業名:)
- 厚生労働省事業(事業名:)
- 地方公共団体単独事業として実施
- 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)
- その他の支援により活動を実施
(イオングループイエローシートキャンペーン助成)

平成30年度府中町放課後子供教室ボランティア研修会実施要項

- 1 趣 旨 時代の移り変わりとともに子供の様子も変化している中で、ボランティアとして、他人の子供との接し方を学び、教室の安全管理の質の向上を図る
- 2 主 催 府中町教育委員会（社会教育課）
- 3 日 時 平成31年 2月27日（水） 10:00～11:30
- 4 場 所 くすのきプラザ 2階 研修室
- 5 対 象 放課後子供教室ボランティア、子供と関わる機会のある職員・関係者
- 6 日 程・内 容

時 間	内 容 ・ 講 師 等
9:30～10:00	受付
10:00～10:05	開会式（アイスブレイク）
10:05～11:35	講演 説明者：教育センター 特別支援教育・教育相談部 部長 竹野 政彦
11:35～11:40	閉会式

- 7 申込・問合せ先

府中町教育委員会社会教育課

〒735-0006 府中町本町一丁目 10-15

電話 082-286-3272 FAX 082-286-3298

担当 荒中

令和元年度第1回府中町放課後子供教室ボランティア研修会実施要項

- 1 趣 旨 放課後子供教室で児童が取り組んでいる仕事を、ボランティアが実際に作成することで、児童への安全管理や指導の質を向上させること。また、1学期の振り返りをグループ形式で共有し合うことで、ボランティア間の交流を図る。
- 2 主 催 府中町教育委員会（社会教育課）
- 3 日 時 令和元年 7月24日（水） 14：00～16：00
- 4 場 所 くすのきプラザ 2階 研修室
- 5 対 象 放課後子供教室ボランティア
- 6 日 程・内 容

時 間	内 容 ・ 講 師 等
13：30～14：00	受付
14：00～14：15	開会行事（アイスブレイク）
14：15～15：15	工作研修「ぼんぼんマスコットをつくろう」 講師：府中町放課後子供教室コーディネーター 松浦 美都子
15：15～15：45	意見交流「ボランティアをして感じたこと、困ったこと、聞いてみたいこと」 コーディネーター：府中町放課後子供教室コーディネーター 小濱 樹子
15：45～16：00	閉会行事

7 申込・問合せ先

府中町教育委員会社会教育課

〒735-0006 府中町本町一丁目 10-15

電話 082-286-3272 FAX 082-286-3298

担当 荒中

令和元年度第2回府中町放課後子供教室ボランティア研修会実施要項

- 1 趣 旨 放課後子供教室事業の目的や動向について学ぶことで、事業の目的を再確認し、児童との接し方を見直す機会とする。さらに、工作研修も行き、工作活動の際に、児童へ適切な指導を行う力を養う。
- 2 主 催 府中町教育委員会（社会教育課）
- 3 日 時 令和2年 3月19日（木） 10：00～12：00
- 4 場 所 くすのきプラザ 2階 研修室
- 5 対 象 放課後子供教室ボランティア
- 6 日 程・内 容

時 間	内 容 ・ 講 師 等
9：30～10：00	受付
10：00～10：05	開会行事
10：05～11：05	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室推進事業における国・県の動向 ・府中町放課後子供教室の現状について ・意見交流
休憩（10分）	
11：15～11：55	工作研修「マジックカレンダー」 講師：府中町放課後子供教室コーディネーター
11：55～12：00	閉会行事

7 申込・問合せ先

府中町教育委員会社会教育課

〒735-0006 府中町本町一丁目 10-15

電話 082-286-3272 FAX 082-286-3298

担当 荒中

【実践事例③】海田町社会教育委員会議
教育委員会からの諮問に対する答申

教育委員会からの諮問（H30.9.10）

- 社会教育施設のあり方について
- 文化協会及び総合型スポーツクラブの設立について



社会教育委員会議の開催

- 社会教育委員19名：6回開催



教育委員会への答申（H31.3.1）

広島県立生涯学習センター
研修コンテンツ「社会教育委員の役割」
(令和2年6月更新)より抜粋

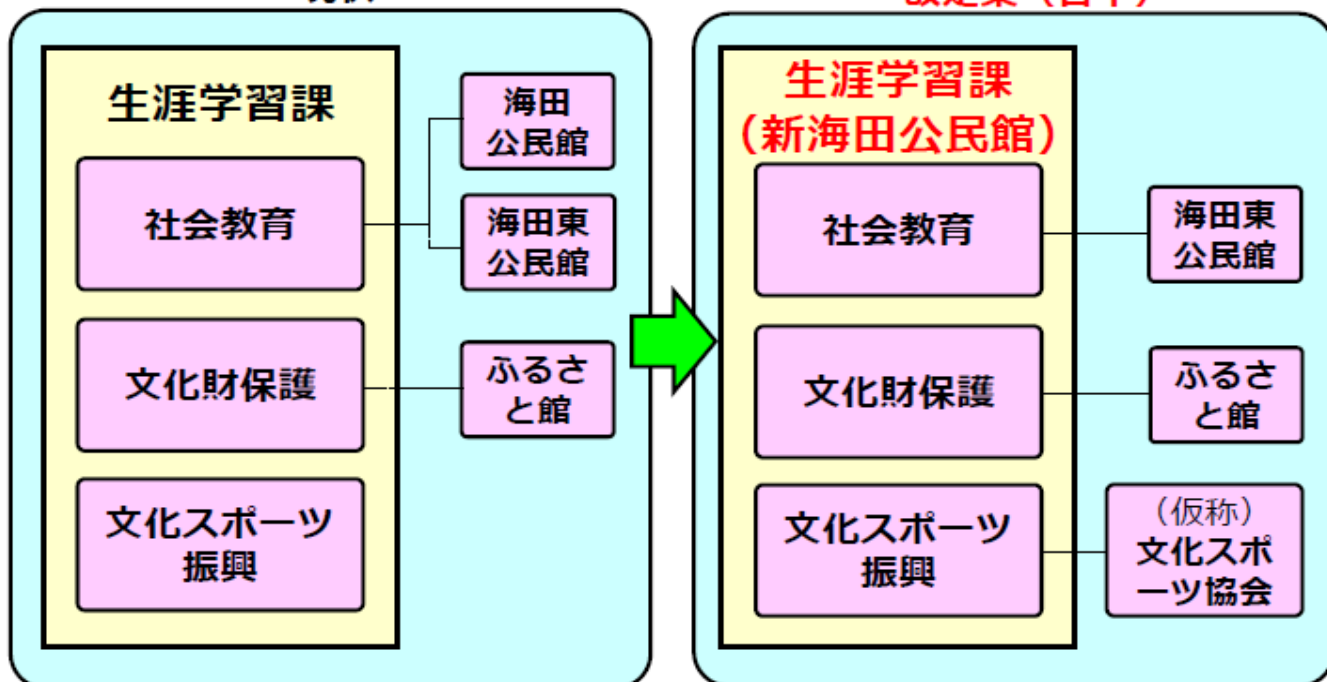
1

【実践事例③】海田町社会教育委員会議
教育委員会からの諮問に対する答申

- 社会教育施設のあり方について

現状

改定案（答申）



※全ての部署・機関が、事業の
企画と実施を行う。

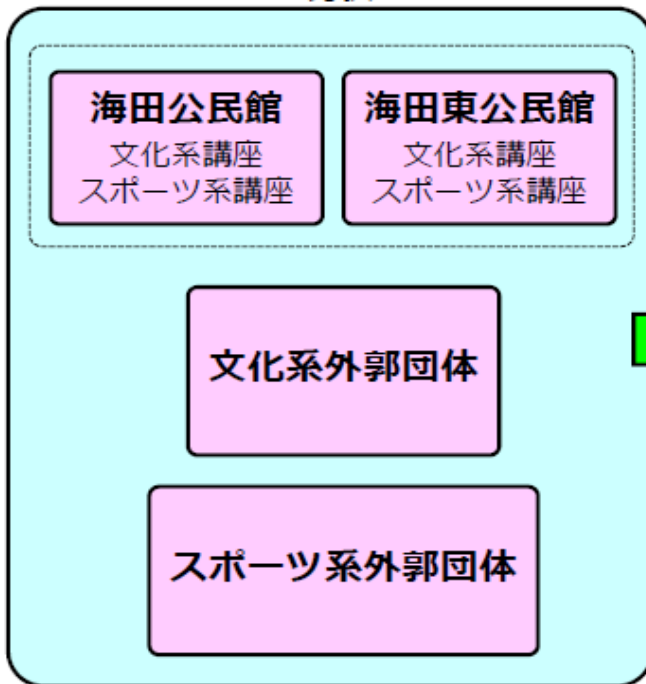
※生涯学習課（新海田公民館）で企画立案を行い、
海田東公民館・ふるさと館では、事業の実施のみ
を行う。

2

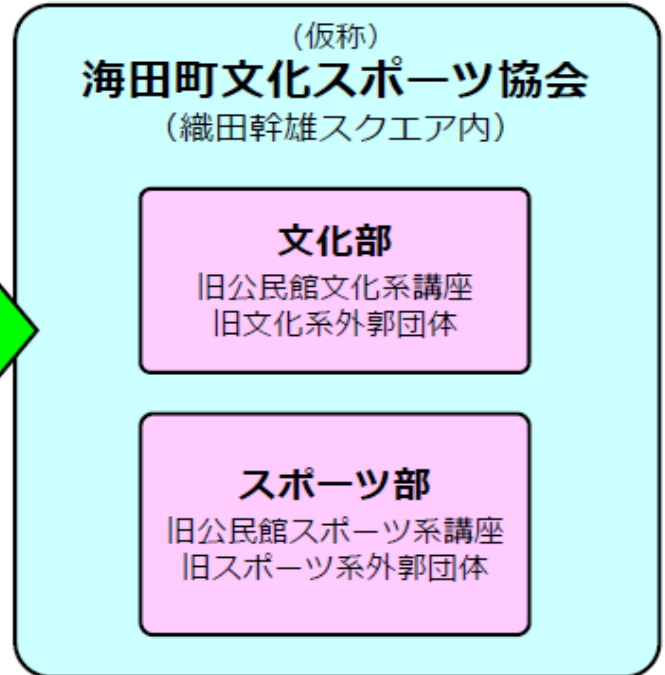
【実践事例③】海田町社会教育委員会議
教育委員会からの諮問に対する答申

○文化協会・総合型スポーツクラブの設立について

現状



改定案 (答申)



※全ての機関・団体が、事業の
企画と実施を行う。

※文化スポーツを担う大きな組織
を新たに設置する。

3

